

今日の箇所はとても短い箇所ですが、なかなか考えさせられる箇所でもあります。12弟子の一人であるヨハネさんが「先生、お名前を使って悪霊を追い出している者を見ましたが、わたしたちと一緒にあなたに従わないので、やめさせようと思いました。」とイエス様に言ったと。これはイエス様への報告ということなのでしょう。イエス様の名前が広く知られるようになってきたことでその真似をする人たちが出て来ても驚くには当たらないのでしょうか。また、当時は何かの病気に罹ったり、行動が奇異であったりすると“悪霊に取り憑かれている”と考えました。その“悪霊払い”は特別な行為で、霊に関係する危険な業でもありましたから。故に、やめさせようとしたことで、ヨハネはイエス様に褒められると思っていたことでしょう。

ところが、このヨハネの言葉に対してイエス様は「やめさせてはならない。あなたがたに逆らわない者は、あなたがたの味方なのである。」と答えられたのでした。どうしてこのような答えを為されたのでしょうか？

いくつかの理由が考えられています。例えば、『使徒言行録』19章11節以下にある「ユダヤ教の悪霊払い者」たちが、同じようにイエス様の名前を使って始めようとした時に、逆に彼ら自身が悪霊によって「ひどい目に会わされた」とありますから、ここでイエス様の名前を使って悪霊を追い出すことが出来ているということは、むしろそのやり方や存在が神様から認められていると言い得ると。しかも直前の9章40節では「この霊を追い出してくださいにお弟子たちに頼みましたが、できませんでした。」とありますように、直前に弟子たち自身は悪霊払いになんと失敗しているのです。それ故、弟子のヨハネが嫉妬して止めさせたとも受け取れるからです。そして、実はこのヨハネの言葉が、原文では「私たちに従わない（＝一緒に来ない）ので彼を止めさせました」とあり、イエス様に従わないのではなく、「私たち

（＝弟子たち）」に従わないから止めさせたという点がひっかかるのです。故に、イエス様が「あなたがたに逆らわない者は、あなたがたの味方なのである」と敢えて言われているのです。この弟子たちの言葉の背後に、自分たちのグループに入らなければ本物ではない、正しい信仰者ではないと考えている点こそ、実は問題があるのだと！なぜなら、そこには自分たちこそ正しい者＝正統であり、それ故、自分たちのグループに入らなければ“邪道だ、異端だ”と考えているのではないか、それは勝手な思い込みであり、傲慢そのものではないかと。

「あなたがたに逆らわない者は、あなたがたの味方なのである」というイエスの言葉は信仰の在り方や形はこれでは許されないと考えないように、その点で“寛容”を持って接するようにという教えであると言えます。私たちも熱心であればあるほど、自分たちの在り方だけが正しいと思い込んでしまうものです。気を付けたい点です。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 9月16日(水) 20:00
II. 9月17日(木) 10:30

聖書研究： ヨブ記
祈祷主題： 園舎・教会改修工事を覚えて
担 当 者： (水) OK (木) MR
祈りに覚える人： TRさん NIさん

*ハンナの会 9月15日(火) 10:30～

【教勢報告】

主日礼拝 男19 女50 計69
祈 祷 会 I. 男4 女2 計6 II. 男1 女5 計6
日曜学校 幼稚科3 小中科9 計12

【次週主日礼拝】 9月20日(日)

聖 書： 出エジプト記 20：12
ルカによる福音書 9：57～62
説 教： 「ルカ87 ― 弟子としての覚悟とは？」
武田 真治 牧 師

讃美歌： 226(1)、32、288、443、520、
37(1)

【次週当番表】

司式：KY長老 奏楽：KH 礼拝：IK長老
献金：NY NY 受付：KN YS
会堂準備：KT NE HH HH
看板：SC 週報：YS お花：IK

【次週集会予定】

礼拝前：・日曜学校 ・聖書輪読会 ・はこぶねルーム
礼拝後：・お茶の会 ・牧師と語る会 ・聖歌隊練習
・オリブの集編集委員会 ・幼稚園理事会
・日曜学校教師会 ・壮年部委員会

週 報

2026年度 教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

2026年 9月 13日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧 師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549